

産学共創リカレント・リスキル教育プログラム

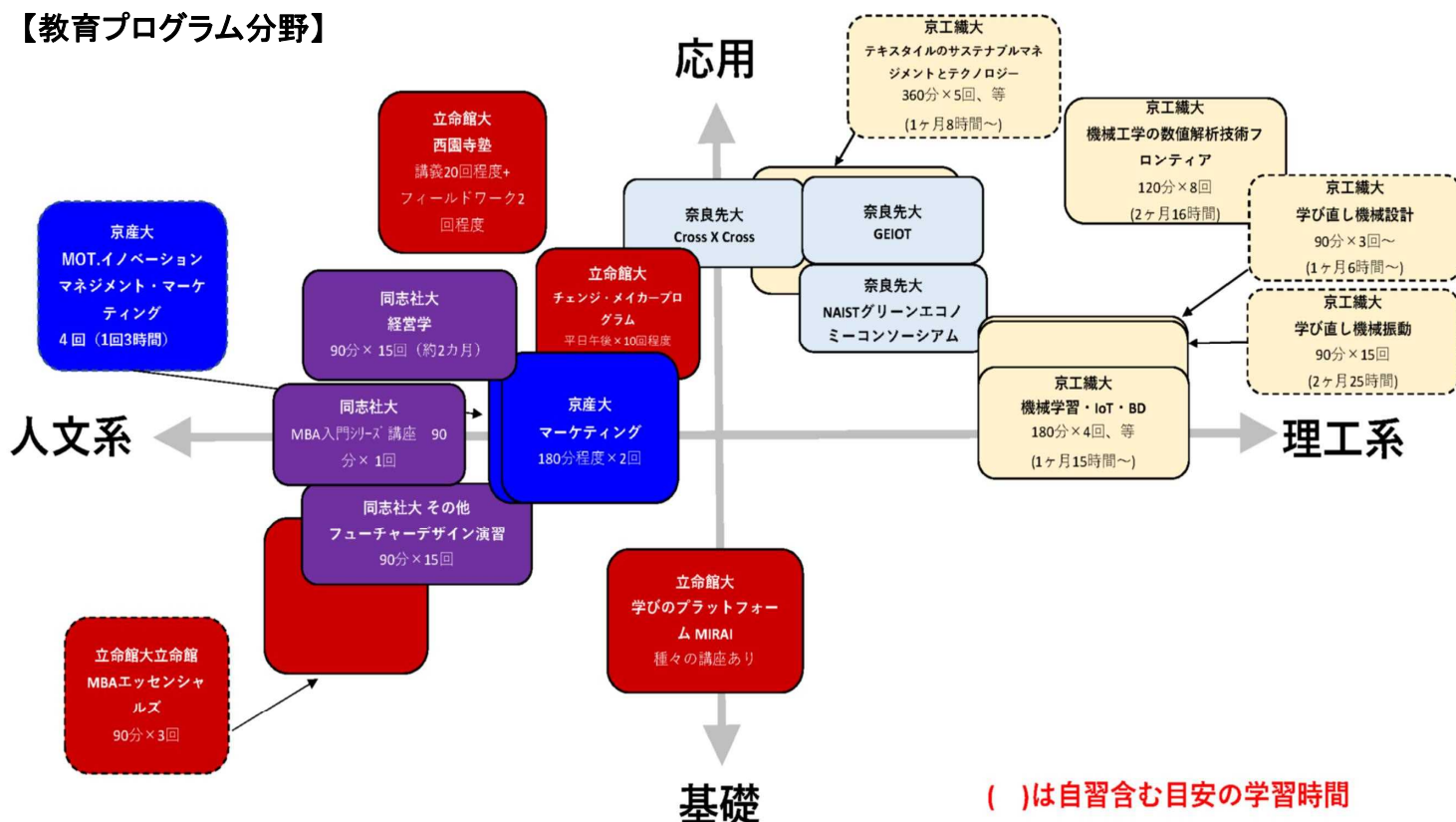
京都クオリアフォーラム

京都クオリアフォーラムの京都・奈良の企業・大学が、人材育成にける思いを語り合い、新たなスキル獲得、継続的な教養や知識を獲得するきっかけや、社会人や学生の学び方の改革となり得る場を継続的に提供する事を目指して、様々な検討と取り組みをしております。

2024年度は、昨年に続き「産学共創リカレント・リスキル教育プログラム」として、ものづくり企業の関心が高い、AI/DX、設計（機械・電子回路・ロボット）、環境対応、MOT・マーケティング、経営学などの分野で基盤となる教育プログラムを提供します。産業界のニーズをもとに、新たな知識を学び、個人のキャリア充実と共に社会へ貢献する学び方改革のきっかけとして頂くため、複数の優れた大学講座からのご提案となります。

京都クオリアフォーラムの設立趣旨を念頭に、この教育プログラムを通じて、企業間や大学間の壁を越え、産学の壁を越え、講師生徒の壁を越え、世代の壁を超え、受講生の学ぶ意識の壁などさまざまな目に見えない壁を越え、新たな学びや交流が生まれるきっかけとなることを期待しております。この場が、知識教育にとどまらず、知恵・見識・アイデアなどイノベーション人材育成につながるユニークな共鳴場として発展させていきます。

【教育プログラム分野】



京都クオリアフォーラム:

優れた大学と特色ある企業が集積する京都では、従来からアカデミアと産業界が連携し、伝統と革新のぶつかり合いを通じて際立った存在感と世界に誇れるイノベーションを起こしてきました。変化の激しい時代においても、日本が世界をリードし飛躍の先駆けとなるべく、真のイノベーションを生み出せる人材を育成することを大きな目的の一つとし、大学と企業による「知の共鳴場」である京都クオリアフォーラム(KQF)が2021年に設立されました。

	プログラム名	開催時期等	受講方法
立命館大学	学びのプラットフォーム MIRAI		オンライン（ライブ配信／オンデマンド配信）または対面
	チェンジ・メイカープログラム	週1回、 2ヶ月程度	対面：東京キャンパス+各 フィールドワーク先・WEB
	立命館大学西園寺塾	5/11～3/1	対面：東京キャンパス+各 フィールドワーク先
	立命館MBAエッセンシャルズ	夏（6～7月）と 秋（10～11月）	オンライン
奈良先端科学技術 大学院大学	※検討中（参考：2023年度情報） Cross X Cross 多面的クロスオーバー （化学反応・相乗効果を狙った多元軸での異種人材混在） PBL型イノベーション人材育成プログラム	10月～2月 週末	対面：大阪市内を中心に大阪 府内で検討中
	※検討中（参考：2023年度情報） GEIOT IoT, AI, ビッグデータ時代のイノベーション 人材育成プログラム	5月～8月 週末	
	NAIST グリーンエコノミーコンソーシアム	通年	オンライン
同志社大学	高等研究教育院 科目等履修生制度 「フューチャーデザイン演習」	未定	対面： 同志社大学（今出川校地）
	MBA:科目等履修生「イノベーションマネジメント」	春学期	対面： 同志社大学寒梅館（今出川校地）
	MBA:科目等履修生「オープンイノベーション」	秋学期	対面： 同志社大学寒梅館（今出川校地）
	MBA入門シリーズ講座	春学期・秋学期	対面：同志社大学寒梅館（今 出川校地）及びオンライン
京都産業大学	マーケティング：製品差別化の諸様相	通年（土曜日）	要相談（対面を希望）
	MOT：成功するイノベーションのための戦略と組織	通年（土曜日）	要相談（対面を希望）
京都工芸繊維大学	機械学習・IoT・ビッグデータ技術履修コース	4月～11月	対面（京都工芸繊維大学）・ オンライン（科目で異なる）
	学び直し機械振動～基礎から応用まで～	10月～11月	オンライン （オンデマンド配信）
	学び直し機械設計～材料から加工まで～	1月～3月	オンライン （オンデマンド配信）
	テキスタイルのサステナブルマネジメントとテクノロジー	9月～12月	1日目：対面（㈱京都紋付） 2日目～5日目：オンライン
	機械工学の数値解析技術フロンティア	9月～12月	対面（京都工芸繊維大学松ヶ 崎キャンパス）・オンライン ※できるだけ対面を希望

※五十音順

申込方法や問い合わせ先等の詳細は下記URLをご確認ください。
 申込〆切が早いものもありますのでご留意願います。
 本チラシによる参加は京都クオリアフォーラム参加団体に限定いたします。
 パスワードは各団体担当者にお問い合わせください。

<https://www.kit.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/01/kqf-typea-r6.pdf>

